



西播医療安全ニュース

2018年1月(第25号)発行

(兵庫県看護協会のホームページにアップしています)



1. 医療安全委員会独自研修報告

【テーマ】:「**医事紛争対応について ～医師会の活動を通して～**」

日 時:平成29年10月28日 13時30分～16時30分

場 所:姫路市医師会館

参加数:71名

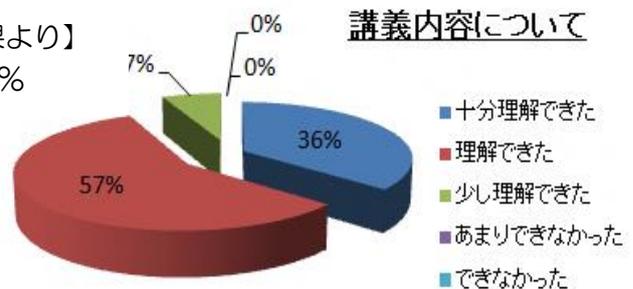
講 師:姫路市医師会副会長 北村 嘉章氏

【内容】:・医師会の医療安全活動(医業安全安心特別委員会)の取り組み
～具体的な医事紛争事例を紹介しながら～
・医事紛争対応に関するQ&A

今回の独自研修では、姫路市医師会所属の病院・医院・クリニックから、医師・看護師・MSW・事務職など、多職種のスタッフのご参加をいただきました。



【アンケート結果より】
回収率 85.9%



【受講者の意見】

- ・事務窓口でも患者さんや家族に対する丁寧な対応が必要だと思った。
- ・記録の重要性が理解できた。会話、説明、言葉、表情等の記録をしておくことが大切だと思った。
- ・患者に理解していただく説明をする、一方的な会話にならないことが重要だと感じた。
- ・日頃の関わりの中で、人としての対応の大切さを含めた講演で心に残った。
- ・医師会での具体的な活動内容を知ることが出来てよかった。
- ・医師会の対応マニュアルを参考に、自院での不足している項目を追加していきたい。
- ・事故調査制度について詳しく分かりやすく説明していただけて良かった。



(姫路市医師会ホームページより)

その他、『ご家族への対応、言葉かけに必要な配慮、注意事項など、具体的な対応スキルについて学びたい』という要望もありました。

2. 第3回リスクマネジャー交流会報告

【テーマ】：「**認知症と医療安全**」

日 時：平成29年12月2日
13時30分～16時30分

場 所：姫路商工会議所 602号

参加数：36名

講 師：認知症看護認定看護師 伊藤 大輔氏（聖マリア病院）

“**パーソンセンタードケア**”
「認知症の人（病気の人）」
ではなく、「**認知症のある人**」
としてみましょ。



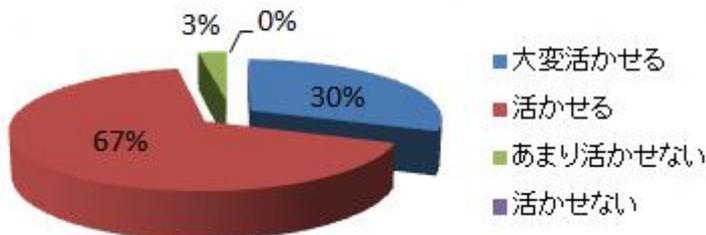
（グループワークの様子）

認知症の患者さんとの関わりが増えてくる中、患者さんの安全と尊厳との間にジレンマを感じることも多いと思います。

まずは、私たち自身が認知症の方の特徴や入院による弊害などを理解することが大切です。そこで、昨年に引き続き、上記テーマで研修（講義&グループワーク）を行いました。

【アンケート結果より】

自施設の活動に活かせるか



【受講者の意見】

- ・認知症患者さんについて再確認できました。
- ・コミュニケーションスキルを磨いて、患者さんや医療チームのスタッフ間でのコミュニケーション能力を上げ、チーム力向上に活かしていきたいです。

3. 2018年度 医療安全委員会研修予定

独自研修 テーマ：「医療事故後の患者・家族・職員への対応」(仮) (8月)
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部部長 松村 由美先生

リスクマネジャー交流会

第1回 睡眠薬の使い方 講師：高岡病院 精神科・内科 清水 勇雄医師 (6月)

第2回 医療安全委員会活動報告<多職種部門からの報告> (9月)

第3回 困難事例への対応～警察の立場から～ (12月)

講師：関西国際大学 人間科学部 西岡 敏成先生

毎回奇数月の16時半～18時、商工会議所において各施設での対応困難事例について
弁護士を交えた意見交換を行っています。

自施設でお困りのことがあれば医療安全委員会までご連絡頂き、お気軽にご参加ください。

発行元：兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会

事務局：県立姫路循環器病センター 医療安全管理室 船間昌代

電話：079-293-3131 FAX：079-295-8199

e-mail：Masayo_Funama@pref.hyogo.jg.jp